



第310号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

# 静臨技ニュース

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／三宅 和秀 編集責任者／鈴木 雅人 発行日／平成28年1月1日 印刷所／小林クリエイト(株)

## 1月号の内容



- ◆ 静臨技次期役員選出について …… 2
- ◆ 第6回静岡県医学検査学会のお知らせ …… 3
- ◆ メディメッセージ終了報告・感想 …… 4～6
- ◆ 静岡県精度管理調査成績検討会を終えて …… 7
- ◆ 減塩・低カロリープロジェクト2015 終了報告・感想 …… 8～10
- ◆ 研修会終了報告 …… 11～14
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 15～19
- ◆ 平成28年1月2月3月行事予定 …… 20
- ◆ 会員の異動 …… 21

## 年頭にあたって

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会長 三宅 和秀

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになったこととお喜び申し上げます。

法改正により4月から「検体採取」「味覚検査・臭覚検査」が可能となりましたが、ライセンスの追加ということで全国の地方厚生局所在地9都市での指定講習会開催のため、静岡県の会員には不便をおかけしておりますが、全国で約17,000人が受講されました。

静岡県は219人が受講されておりますが、受講率は15%と全国ワースト3位であり早めに受講されることをお願いいたします。

静臨技の理事体制も2年目となり、皆様の協力のもと技師会運営に努めております。公益事業として「メディメッセージ2015」「伊豆市健康福祉まつり」「減塩・低カロリープロジェクト2015」等に参画をいたしました。

また、会員にとってデータの精度保証は重要な課題と認識し、各部門の学術研修会、精度管理事業の「精度管理報告会」や「精度保証施設認証」に取り組んでおります。

「検査説明のできる検査技師の育成」も積極的に取り組み、2年間で約100名に受講していただきました。次年度は東部支部での開催を予定しております。今後も臨床の現場で活躍できる技師の育成に取り組んでいきます。

平成27年度の大きな事業として、日臨技中部圏支部医学検査学会(第54回)が静岡市のグランシップにて平成27年9月26日(土)・27日(日)に開催されました。

一般演題は170演題と過去最高であり、973名の参加をいただき盛会裏に終了することができました。会員ならびに賛助会員の皆様のご尽力によるものと感謝しております。改めて静岡県会員の底力を痛感致しました。

最後になりましたが、会員の声に耳を傾け役員一同頑張る所存ですので、今後とも技師会活動にご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

# 静臨技次期(平成 28、29 年度)役員選出について

正会員各位

平成 28 年 1 月吉日

(一社) 静臨技役員候補者選考委員会

## 一般社団法人 静臨技次期役員選出について

役員候補者選考規程第 7 条により、平成 28、29 年度一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会役員(理事)の立候補及び会員からの推薦受付を下記の要領で実施いたします。

尚、届出書類は、静臨技ホームページからダウンロードするか、事務所へ請求してください。

### 記

1 受付期間 平成 28 年 2 月 1 日～3 月 1 日 (必着)

2 届出書類 1) 立候補の場合 立候補届 (様式 2)  
2) 候補者推薦の場合 候補者推薦届 (様式 1)

3 届出先 (各支部役員候補者選考委員に委員長宛てで提出)

【東部支部】	遠藤 俊彦	聖隷沼津病院	TEL 055-952-1023
	〒410-8555	沼津市本字松下七反田 902-6	FAX 055-952-1024
	○海野 和浩	共立蒲原病院	TEL 0545-81-2211
	〒421-3306	富士市中之郷 2500-1	FAX 0545-81-4834

【中部地区】	村松 宗子	静岡市立清水病院	TEL 054-336-1111
	〒424-0911	静岡市清水区宮加三 1231	FAX 054-336-1147
	池ヶ谷やす代	静岡県予防医学協会 静岡事務所	TEL 054-278-7716
	〒421-1292	静岡市葵区建穂 1-3-43	FAX 054-278-7717

【西部地区】	◎釋 悦子	聖隷浜松病院	TEL 053-474-2632
	〒430-8558	浜松市中区住吉 2-12-12	FAX 053-474-3388
	高橋 篤	静岡県予防医学協会 西部検査所	TEL 053-422-7800
	〒435-0006	浜松市東区下石田町 951	FAX 053-422-7801

以上

◎は役員推薦委員会の委員長、○は副委員長となります。

# 第6回 静岡県医学検査学会

## 開催要項

### 【開催日】

平成 28 年 6 月 11 日 (土) 9:00~16:00 まで (平成 28 年度定時総会を含む)  
一般演題・教育講演・ランチョンセミナー 等

### 【開催場所】

「あざれあ」静岡県男女共同参画センター 大ホール他

### 【主催】

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

学 会 長： 鈴木 雅人 (静臨技 副会長)  
実行委員長： 稲村 義男 (静臨技 東部支部長)  
学会事務局： 井川 千春 (静臨技 理 事)

## 演題募集

学会の基本的な構想はできるだけ身近な問題をテーマとし、若手から中堅技師による一般演題を中心に据えて、今後の本格的な学会発表に向けた登竜門を意図しています。会員の皆様から一般演題を広く募集します。どうぞ積極的にお申込みください。

### 【演題申込・抄録登録】

- ① 演題申込期間： 平成 28 年 1 月 18 日(月)~平成 28 年 2 月 19 日(金)
- ② 抄録登録締切： 平成 28 年 3 月 11 日(金)

### 【申し込み先】

下記の一般演題申込用紙に必要事項を御記入のうえ、FAX にて静臨技事務所までお送り下さい。

第 6 回 静岡県医学検査学会 一般演題申込用紙	
静臨技事務所 FAX 番号 054-287-4113	
演題名	
発表者	
施設名	
連絡先電話番号	
連絡先メールアドレス	

# メディアメッセージ 2015 終了報告

常務理事 山田 哲司 (聖隷三方原病院)

2015年11月21日(土)、22日(日)の2日間、浜松市のアクティシティ浜松、展示イベントホールにて「メディアメッセージ2015」が開催されました。西部支部会員を中心とする多くの皆様の御協力により大盛況のうちに終了することができました。

静臨技ニュース12月号の伊藤事務局長の速報にもありましたように、初日77名(会員46名・理事17名・静岡医療科学専門学校学生12名・教員2名)、2日目77名(会員43名・理事19名・静岡医療科学専門学校学生13名・教員2名)の参加協力を得て、2日間の一般来場者数6000名(初日2200名・2日目3800名)と盛況のうちに終了することができました。ゆるキャラグランプリと開催が重なり来場者数に関しては若干の心配もありましたが、大盛況であったと思います。

メディアメッセージ2015は“さあ、健康都市の医療に参加しよう”を開催テーマにメディアメッセージ2015実行委員会(協和医科器械株式会社・株式会社オズ・浜松市・浜松市医師会)を中心として開催されました。

各種団体が様々な展示を行い、その中でも目玉となるイベントは「腹腔鏡胆嚢摘出」「心臓カテーテル」「手術室の公開」であり、静臨技が担当したブースは、検診(体組成・ABI・骨密度)・超音波(頸動脈・腹部ファントム模型・胎児ファントム模型・ゼリーを使った超音波の実演)・静脈可視化装置・心電図・がん(血液、病理)、職業紹介と多岐にわたりました。検診はどれも人気が高く、ABIなどでは待ち時間が1時間近くになることもありました。測定後の結果説明では、高度な質問をされる方もおられ、スタッフが回答に困ることもありました。血液・病理などの鏡検では、日頃見ることができない体験に皆さん興味深く顕微鏡を覗き込んでいました。また静脈可視化装置は大変好評で、皆さん「なぜ静脈が見えるの?」と興味深く自分の静脈を覗き込んでいました。職業紹介では、「どうすれば臨床検査技師になれるのか?」を真剣に聞いて下さる学生さんも何人もいて、「臨床検査技師」の認知度も上がってきたように思われます。

今年は静岡医療科学専門学校臨床検査学科の学生さん達がお手伝いに参加してくれました。臨床検査技師を目指して勉強中の学生さんには「医療の学校」と「臨床検査技師」はどのように映ったのでしょうか?良い刺激になったのならうれしく思います。学生さん達の御協力本当に助かりました。ありがとうございました。

今回このように成功裏のうちにメディアメッセージ2015が終了したのも病理細胞部門・臨床血液部門・臨床生理部門のスタッフの皆様をはじめ西部支部各施設の御協力があったこそだと思います。ありがとうございました。

さて、次回は東部でメディアメッセージが開催される予定です。来年も大成功に終われますよう御協力よろしくをお願いします。

今回参加して下さった各施設・会員の皆様に感謝申し上げます(順不同・敬称略)

浜松医療センター、聖隷浜松病院、聖隷健康診断センター、浜松医科大学附属病院、静岡厚生連遠州病院、浜松赤十字病院、すずかけセントラル病院、聖隷三方原病院、浜松市リハビリテーション病院、磐田市立総合病院、公立森町病院、聖隷予防検診センター、市立御前崎総合病院、清水厚生病院、静岡厚生病院、焼津市立総合病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡市立静岡病院、静岡県立総合病院、静岡済生会病院、JCHO 桜ヶ丘病院、沼津市立病院、JCHO 三島総合病院、富士市立中央病院、富士宮市立病院、静岡医療センター、榛原医師会検査センター、順天堂大学医学部附属静岡病院

# メディアメッセージ 2015 に参加して

聖隷三方原病院 太田 美哉

メディアメッセージに参加して、想像していた以上に来場者が多く一般の方の医療や健康の関心の高さには正直驚きました。当日の担当は、フルーツゼリーを超音波で見るコーナーでした。来場者の方には実際にエコープローブを持って頂き、フルーツゼリーの中に何の果物が入っているかを当てていただきました。みかんの粒々、さくらんぼの種、パイナップルの繊維がきれいに見え、お子さんだけでなく付き添いの父兄にも「わあ〜、すごい」と沢山言っていただくことができ、私も楽しく充実した1日になりました。

今回の経験を通して、誰にでもわかりやすく説明することの大切さを改めて実感しました。一般の方の素朴な「なぜ？どうして？」に答えようとするとうまく伝わらなかったかなと感じることが何度もありました。この反省点を今後の業務に活かせるよう、常にわかりやすい説明を心掛けたいと思います。今回のメディアメッセージを通して臨床検査技師の仕事が少しでも身近に感じていただけたら嬉しいです。今日は、沢山の来場者の方と接することができ、本当にあつという間の時間でした。ありがとうございました。



浜松医科大学医学部附属病院 太郎丸 奈央

今回初めてメディアメッセージに参加し、1日目の動脈硬化測定を担当しました。測定ブースは子ども連れのご家族や中高年の方など想像以上に多くの来場者の方々が列をなしており、健康への関心の高さに驚かされました。測定結果の説明にも熱心に耳を傾けておられ、「普段の健康診断ではこのような動脈硬化の測定がないので、自分の血管の状態を知るととても良い機会だった」、「このような検査は病院のどの診療科にかかれば行ってもらえるのか」などたくさんの感想や質問をいただきました。生理機能検査業務に就いて5ヶ月目のため、まだ普段の業務では検査結果について説明する機会がないので、難しいなと感じることも多々ありましたが、とても良い経験になりました。また、担当ブースは人員的に余裕があったため、他のブースの見学にも行くことができました。画像診断や人工透析など、普段なかなか見ることのできない機器を見学したりいろいろ説明していただいたりととても充実した時間となりました。臨床検査のことを多くの人々に知ってもらうため、また自分自身の経験のためにもこのような機会があったらまた参加したいと思います。

#### 磐田市立総合病院 田中 碧

‘メディメッセージ 2015 医療の学校’にスタッフとして参加させて頂きました。当日は病理細胞診部門で、業務の紹介や実際の標本を用いて鏡検・説明を行いました。事前に当日の資料や標本を確認し臨みましたが、いざ本番を迎えると、客層は多様であり、大人や中高生には何をどう説明したらよいか、小さな子ども達にはどうしたら興味を持ってもらえるか？戸惑いの中、先輩方の接し方を見て、またアドバイスをもらうことで徐々に慣れ、少し余裕を持って説明し対応することができました。病理技師の仕事についてもアピールができ、少しではありますが理解していただけたと思っています。また多くの来場者の笑顔に、私自身大きな充実感を得ることができました。

今回、日々の業務の中では得られがたいとても貴重な経験ができました。今後も積極的に参加していくと共に、意識を高く持って日々の業務に取り組んでいきたいと考えます。



#### 聖隷浜松病院 道村玲香

2015年11月21日、22日に開催された『医療の学校 メディメッセージ』に病理部門のスタッフとして参加させて頂きました。子供から大人まで幅広い年代の方が来場されました。子供達が顕微鏡の操作や標本を見ることにとても興味を持ってくれたことを嬉しく感じました。大人の方々もまた、手術摘出後の検体がどのように処理され病理診断がなされているかの過程や、癌がどのように見えるのかということについての写真や標本を用いた説明を大変興味を持って聞いて下さいました。普段は一般の方々に自分達の仕事について話す機会など無く、当初は説明方法に戸惑いましたが、時間の経過と共に説明にも慣れ、抵抗なく多くの来場者の方々と接することができ、子供から大人まで幅広い年代の方々に対してそれぞれどのような言葉を使えば分かりやすく説明できるのかということ学ぶことができました。更に、自分達の仕事の意義について再考する良い機会となりました。今後更に病理に関しての理解を深め、より誇りを持って仕事に打ち込んで行きたいと思いました。

#### 磐田市立総合病院 川井 孝太

今回初めて、メディメッセージに参加しました。来場者に顕微鏡で血液細胞を実際に観察してもらい、説明をする担当でした。少ない知識をフル活用して、来場者の方と一緒に顕微鏡を見て説明をしました。顕微鏡で夢中になっている子供や、医療の仕事に興味のある中高生に説明するとリアクションが大きく新鮮な反応でした。逆に、詳しい方もいて困ってしまい先輩に助けをもらう事も多々ありました。

両日参加させて頂きましたが、日曜日の朝の賑わいには、少し驚きました。

来場者の方の中には、臨床検査技師という職業について知らない方もいました。

メディメッセージのような企画に参加し、臨床検査技師について多くの方に知って頂くのも楽しく感じました。また、他施設の方ともふれあえるので情報交換などができて充実して実のある2日間でした。

## 第 32 回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会を終えて

静岡県精度管理調査委員会 統括 清水 憲雄 (磐田市立総合病院)

昨年 12/13 (日) 開催された静岡県精度管理調査成績検討会におきましては、総勢 389 名の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。

静岡県の精度管理調査は、日本医師会の大規模精度管理調査を補完する目的から、各部門で毎年テーマを決めて実施されています。また、地域サーベイの特色を生かして生試料を利用するため、全国的な大規模調査と比較してより実践的と言えます。

今年度の参加施設数は 114 施設であり、ほとんどの施設が良好な結果を示していました。

各部門の委員より報告のあった検討結果については、出席いただいた皆様より、各施設のスタッフに伝達いただき、静岡県全体の精度管理の向上につなげていただくようお願い申し上げます。

今後とも、静岡県精度管理調査へのご参加、ご協力のほどよろしくお願い致します。



# 「減塩・低カロリープロジェクト 2015」無事終了！！

事務局長 伊藤 喜章 (遠州病院)

寒さが一段落した、平成 27 年 11 月 29 日 (日) に浜松市医師会主催イベントとして、「減塩・低カロリープロジェクト 2015」が浜松市医師会館にて開催されました。このイベントは 4 年前に、浜松市の主催にて『見る』より『体験』「やрмаいか！健康はままつ 21」体感フェアとしてアクトシティで開催されたイベントの進化系で名前・場所・主催を変えて今回 3 回目の開催となりました。我が静岡県臨床衛生検査技師会も、静臨技理事及び西部技師会会員 5 名と 3 名の賛助会員様、そして今回は、今年から浜松に開設された静岡医療科学専門学校 (静医専) の鈴木先生 (1 名) と生徒 (7 名) の参加協力も得られ、総勢 25 名で参加をしてきました。(ボランティア参加のため技師会経費削減目的もあり西部の会員に動員をお願いしました) 今回は、一週間前に浜松でメディメッセージもあり、その際に沢山の動員をして頂いた聖隷グループの会員さんには休憩として頂き、磐田市立総合病院・遠州病院の理事役員 2 施設に協力をお願いしました。このイベントも昨年同様、パンフレットやチラシに静岡県臨床衛生検査技師会共催と名前が記載され、西部開催の公益事業として非常に気合が入ったイベントとして定着してきました。

朝、9 時に技師会も担当である 2 階控室に 25 人が集合し、白衣に着替え、会場設営、進行打ち合わせ、機器説明と段取りを進め、恒例のピンクのビブスに腕をとおし、参加者全員に気合が入りました。昨年は来場者用の結果記録用紙を忘れるアクシデントがありました、注意した今回は何と尿のコップを忘れるという想定外のアクシデントもありましたが、開始までには遠州病院に相当数の紙コップをお借りして、万全となりました。担当は 2 部門 (尿の塩分測定、SMBG (血糖測定)) で理事・会員が持ち場に分かれ来場者を待ち、スタートになりました、約 1 時間半で 80 人強を検査する開催なので少し心配をしていましたが、さすがに慣れたのでしょうか、大きな渋滞・クレームもなく来場者を最後のレクチャールームに誘導出来ていました。11 時半ぐらいには遠州病院の医師のレクチャーが始まったので、技師会参加者は減塩・低カロリー弁当を味見しました。その後、研修会場などを元の教室の状態に戻し、イベントを終了しました。今回、メディメッセージ・減塩と両イベントが無事に終了できたのは皆様のご協力があったおかげと思っております。今回ご理解・ご協力して頂いた会員施設 (磐田市立総合病院・遠州病院)、並びに理事様、静岡医療科学専門学校様、三和化学様、ジョンソン&ジョンソン様、協和医科様にはこの場をかりて御礼申し上げます。ご協力大変ありがとうございました。

以下に、今回参加して頂いて方々の感想を載せておきました。



## 「減塩・低カロリープロジェクト 2015」に参加して

磐田市立総合病院 杉江 昌男

2015年11月29日（日）に開催された「減塩・低カロリープロジェクト 2015」体感フェアに血糖測定の担当として初参加させていただきました。普段の業務で行っている SMBG 指導とはまた違った、SMBG に馴染みのない方とも話す機会があり、また、他院の SMBG 指導担当者の話も聞けて色々勉強になりました。今後の指導の参考にしたいと思います。

J A 静岡厚生連 遠州病院 竹島 千晶 & 加藤 未紗

初めて減塩プロジェクトに参加し、私たちは血糖測定を行いました。実際自分の血糖を測定すると思ったより痛みがあり、糖尿病の方は一日に何度も測定しなければならないのは大変だなと感じました。驚いたことは、参加者の血糖値が 200mg/dL を超える方が何人かいたことです。中には未治療の方もいたため、病院に足を運びきっかけになってくれたらと思います。今後 SMBG 業務に関わるので良い経験となりました。

また今回は減塩弁当を試食させて頂きました。味が薄いのかと思い食べてみると、しっかり味がついていて、普通のお弁当と変わらずおいしく頂くことができました。

このような催し物は健康を考える良いきっかけになったので、より多くの人に参加して頂けたらと思います。



静岡医療科学専門学校 1年 吉澤 舞

学生という立場で来場者の尿検体を補助で扱わせてもらうことができ、とても光栄なことと感じました。また、減塩プロジェクトに参加させてもらわなければ現場に出るまで気づくことのできなかつたことも教えて頂き、大変勉強になりました。実際に臨床検査技師として働いている方々にお会いする機会は、私にとって非常に刺激的で楽しい時間でした。また、検査技師の方々の和気藹々とした雰囲気にも安心して頂きました。誠に貴重な体験をありがとうございました。

#### 静岡医療科学専門学校 1年 高塚 健介

今回、減塩プロジェクトに参加させて頂きましたが、とても良い経験になりました。最初は見知らぬ場所や雰囲気緊張しましたが、技師の方々にやさしく丁寧に教えてもらったことで、受付の仕事をスムーズに行う事ができ、同時に臨床検査技師の仕事についても知ることができました。今後もこのようなイベントに是非参加したいです。

#### 静岡医療科学専門学校 1年 石田 悠希

今回の減塩プロジェクトに参加して、とてもいい経験をしました。尿の塩分濃度を測定しましたが、一人だけ行うのは難しく、数人で助け合っていました。みんなで助け合っているから医療なのだと感じることができました。来場者ともふれ合うことができ、なにより技師さんからありがとうと言われ、嬉しかったです。また来年も機会があったら参加して勉強したいです。



#### 静岡医療科学専門学校 1年 鈴木 真生

今回私は、お手伝いという形で減塩プロジェクトに参加させて頂きました。私は尿の塩分測定の記録を担当しました。来場者とコミュニケーションを取った上で作業をするなど、来場者の検体と、その記録が一致することに気を付けるのが大変でしたが、同時に臨床検査技師の仕事をより密接に学ぶことができました。またこのような機会があったら参加したいです。

#### 静岡医療科学専門学校 1年 川口 颯太

今回の減塩プロジェクトでは、実際に来場者の尿の塩分濃度を測定するという貴重な体験をさせてもらいました。私は、来場者から尿を受け取り、濃度を測定する係を担当しました。測定と来場者への対応を一緒に行うのはとても難しかったです、いい勉強になりました。来年も行われるとのことなので参加して頑張りたいと思いました。

#### 静岡医療科学専門学校 1年 大石 祐

今回は、学生という立場にもかかわらず、このような貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。受付という仕事を臨床検査技師の方々と一緒にさせてもらい、来場者と多く接する機会があり、生理機能検査をやりたいと考えている僕にとっては、来場者とコミュニケーションが取れて、良い経験になりました。さらに、お土産に減塩せんべいをもらうことができ、大変美味しくいただきました。また、学校の実習でまだおこなっていない血糖検査を実際に体験することができ貴重な体験になりました。是非とも、次の機会にも参加させて頂きたいです。

#### 静岡医療科学専門学校 1年 青木 真美

減塩プロジェクトに参加させて頂き、臨床検査技師の方々と同じ空間にいられることがとても光栄でした。その姿に憧れと尊敬を抱くとともに、自分の目指すものを改めて実感しました。また、検体を扱う責任の重さ、衛生への気配り、来場者への接し方など大変勉強になる貴重な体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

## 研修会終了報告

事業名	第2回臨床生理部門研修会
開催日	平成27年11月8日(日)
会場	静岡県立総合病院 つつじホール
参加人数	51人
内容	<p>糖尿病をテーマにした生理機能検査研修会でした。</p> <p>浜松医科大学の釣谷医師からは糖尿病の基礎からCGMまで幅広い講義を聴くことができ、基礎だけに留まらずこれからの糖尿病治療の最新情報を得ることができました。</p> <p>また木下技師の頸動脈エコーでは、本からは得られないスペシャリストだからこそ教えていただけの知識がつまった内容で、新たな気持ちで向学しなければいけないと痛感しました。</p> <p>更に動脈硬化とCAVIのテーマでは、結果の解釈など実践的な内容もあり、すぐに臨床で役立つ充実した研修会でした。</p>



## 研修会終了報告

事業名	平成 27 年度 静岡県臨床検査データ標準化事業 講習会
開催日	平成 27 年 11 月 14 日 (土)
会 場	静岡コンベンションアーツセンター グランシップ 映像ホール(2F)
参加人数	81 人
内 容	<p>今回、参加人数は 81 名と多数の参加をいただきました。講師には川崎医科大学大学中央検査部 技師長の河口勝憲先生をお招きし、肥満・過食、喫煙、飲酒習慣などによる個体内変動や体位変化、採血時の安静とストレス、食事・長時間絶食、運動、日内リズムによる個体内変動について、ご自身が研究された解析データをもとにお話いただきました。</p>  <p>思った以上に個体内変動の要因や検査項目が多いと感じた人も多かったのではないかと思います。大変わかりやすいお話でしたので日常検査に役立てていただければと思います。</p>  <p>また、講師の小杉山技師には慢性関節リウマチの患者データを中心に、MMP3、CRP、赤沈に加え、血清アミロイド A (SAA) など、当該患者群の検査データの解析を通して皆さんと炎症マーカーについての理解を深めていただきました。伊藤技師には自動分析機の日常遭遇する電解質トラブルについての対応についてお話しいただきました。今後とも若手技師中心に年に 1,2 回、本講習会を企画していきたいと思えます。会員技師、賛助会員の皆様の参加をお待ちしております。</p> 

## 研修会終了報告

事業名	静岡県標準化事業 第14回 東部地区意見交換会
開催日	平成27年 11月 27日(金)
会場	三島市民文化会館
参加人数	41人
内容	<p>今年度は中部圏支部医学検査学会が静岡県で開催された為、今年度は今回が東部地区1回目の開催となりました。急な開催にも関わらず41名の方に参加いただきました。ディスカッションテーマは「再検査・再測定の基準について」でした。関甲信支部医学検査学会のシンポジウムでも「再検査を再考察」で取り上げられていた話題です。明確な基準を設定する事はとても困難であります、各施設の現状をお話しいただきました。</p>  <p>講演は田内先生に「医療トラブルから学ぶ患者接遇」をお願いしました。静岡県の現状を含め医療事故・医療紛争・医療過誤の説明にはじまり、それらを回避するための十分なインフォームドコンセントや丁寧な接遇の必要性を語っていただきました。またトピックスとして残余検体の取り扱いについてもお話頂きました。</p>

## 研修会終了報告

事業名	平成 27 年度 第 2 回 輸血・細胞治療部門研修会
開催日	平成 27 年 11 月 29 日 (日)
会 場	静岡県赤十字血液センター
参加人数	17 人
内 容	<p>17 名が参加し、静岡県赤十字血液センターにて輸血検査実技研修会（初級）を行いました。</p> <p>血液型検査では、血液型検査の手技と Rh 陰性の場合、異常反応で血液型が確定できない場合に行う追加検査、緊急で輸血が必要な場合の対応などについて学びました。不規則抗体検査では、不規則抗体スクリーニングの手技と消去法の手順、緊急で輸血が必要な場合の優先度などについて学びました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>輸血検査での過誤は重大な医療事故につながる可能性があるため、正しい手技を習得する必要があります。また、血液型が確定できない、不規則抗体が陽性となった患者に輸血が必要になった場合に、その時点でもっと良いと考えられる選択肢を、医師にアドバイスできる力が必要です。</p> <p>今回の研修会には、輸血検査に配属になって間もない方が多く参加してくれました。今後の活躍が楽しみです。</p>

### ☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）鈴木雅人まで [suzuki\\_masahito@sh.city.fuji.shizuoka.jp](mailto:suzuki_masahito@sh.city.fuji.shizuoka.jp)

**会報 12 月号（抜粋カラー版）をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。**

# 臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 27 年 12 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。  
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 28 年 (1) (敬称略)

<p>平成 28 年 1 月 9 日 (土) 13 : 00 ~ 16 : 30</p> <p>聖隷浜松病院 医局管理棟 4F K47 会議室</p> <p>会員 1,000 円 非会員 2,000 円 (テキスト代込)</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 第 3 回 臨床生理部門研修会</b></p> <p>テーマ : 超音波検査士認定試験対策セミナー</p> <p>13 : 00 ~ 受付</p> <p>13 : 30 ~ 16 : 30 超音波検査士認定試験に向けた基礎研修会</p> <p style="text-align: center;">東芝メディカルシステムズ株式会社 濱滝 壽伸 先生</p> <p>対象者 : 超音波検査士認定試験の受験予定者 参加予約は不要です。直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (150028860) 生理-専門-20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b></p> <p>臨床生理部門 聖隷浜松病院 臨床検査部</p> <p>渡辺 真世</p> <p>TEL 053-474-2222 (内線 2105)</p>
<p>平成 28 年 1 月 29 日 (金) 18 : 30 ~ 20 : 45</p> <p>三島商工会議所会館 4 階 会議室 B</p> <p>会員 500 円 賛助会員 500 円 非会員 1,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>静岡県標準化事業 第 15 回 東部地区意見交換会</b></p> <p>&lt;テーマ&gt; 若手技師・経験年数の浅い技師の方の研修と臨床検査に関する意見交換を通して検査室のレベルアップを図る</p> <p>&lt;ディスカッション&gt; 「測定範囲を超えた場合の再測定について」 富士宮市立病院 赤池 陽子 技師 前回の意見交換会では「再検査の基準について」みなさんの施設状況等を話していただきました。今回はそういった中で「測定範囲を超えた場合の対応は？」どのように取決めて再測定をしているのか、ディスカッションしたいと思います。</p> <p>&lt;講演&gt; 「R-CPC」 聖隷浜松病院 臨床検査科 米川 修 先生</p> <p>基本的な検査の読み方・考え方を臨床検査専門医である米川修先生にわかりやすくお話していただきます。</p>	<p>No. (150032595) 標準化-基礎-20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b></p> <p>富士宮市立病院 臨床検査科</p> <p>赤池 陽子 TEL 0544-27-3151 (内線 247)</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>平成 28 年 2 月 6 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>山口駅前ビル 5 階会議室 5-D</p> <p>〒420-0857 静岡市葵区 御幸町 11-8 (JR 静岡駅より 徒歩 3 分)</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 第 4 回 臨床一般部門研修会</b></p> <p>テーマ : 髄液検査について学ぼう!</p> <p>13 : 45 ~ 受付開始</p> <p>14 : 00 ~ 16 : 30 (休憩含む) 『髄液検査の基礎と 髄液検査法 2002 からの変更点について』 東京大学医学部附属病院 検査部 宿谷 賢一 先生</p> <p>16 : 30 ~ 17 : 00 質疑応答</p> <p>髄液検査のスタンダードとして長年広く愛読されてきた『髄液検査法 2002』の出版から 13 年ぶりの改訂として、2015 年 7 月に『髄液検査技術教本』が日臨技から新たに発刊されました。 今回の研修会では、髄液検査技術教本編集部会委員長を務められた東京大学医学部附属病院の宿谷先生をお招きして、髄液検査の基礎や髄液検査法 2002 からの変更ポイントなどについてご講演をお願いしています。</p>	<p>No. (150028871) 一般-専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】 臨床一般部門 藤原 彩乃</p> <p>浜松医科大学 医学部附属病院 検査部</p> <p>TEL : 053-435-2786</p>
<p>平成 28 年 2 月 13 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>山口駅前ビル 会議室 6-C</p> <p>〒420-0857 静岡市葵区 御幸町 11-8 (JR 静岡駅より 徒歩 3 分)</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 第 3 回 輸血・細胞治療部門研修会</b></p> <p>「稀な血液型について知ろう」 日常検査においてめったに遭遇することがない稀な血液型の検査時の注意点、輸血時の対応などについて(株)カイノスの西野主真先生(元 富山大学病院 輸血部)に解説して頂きます。</p> <p>「輸血症例の検討」 今回は、実際に経験した症例を数名の技師より発表して頂きます。実際の症例を元に検討することで、みなさんと一緒に学びたいと思います。</p>	<p>No. (150031796) 輸血-専門-20 点</p> <p>輸血・細胞治療部門 亀山拓哉 市立島田市民病院</p> <p>TEL 0547-35-2111</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>平成 28 年 2 月 14 日 (日) 10 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡労政会館 6 階 大ホール</p> <p>会員 6,000 円 賛助会員 6,000 円 非会員 10,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 16 回 静岡血液フォーラム</b></p> <p style="text-align: center;">血液担当技師として 臨床に役立つスキルを身に付けよう！</p> <p>第 1 講演 『 重症貧血の考え方 』 第 2 講演 『 骨髓検査技師を目指そう！ ～私が取り組んだこと～ 』 第 3 講演 ランチョンセミナー 第 4 講演 『 血球分析装置から判る血液疾患の 見方・考え方・血液像の形態 』 第 5 講演 『 末梢血液像と骨髓像の実践的見方 』 第 6 講演 『 臨床に必要な凝固検査の知識 』</p>	<p>No. (150025250) 血液－専門－20 点</p> <p>臨床血液部門 部門長 大橋 勝春 JCHO 三島総合病院 臨床検査部 TEL 055-975-5545</p>
<p>平成 28 年 2 月 27 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡赤十字病院 3 号館 研修室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 第 2 回 染色体・遺伝子部門研修会</b></p> <p>テーマ： 遺伝子検査を基礎から学ぶ</p> <p>平成 27 年度第 2 回目となる染色体遺伝子検査部門の研修会は、遺伝子検査の実施にあたり求められる手技と検査室のありかたについてご講演して頂きます。是非ご参加下さい。</p> <p>講演内容</p> <p>1. 『遺伝子実験の注意点とコツ』 ～ピペット操作から PCR まで～ サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 アナトミカルパソロジー部 大滝 真作 先生</p> <p>2. 『ISO15189 における遺伝子検査室の運用』 国立がん研究センター 病理遺伝子検査主任 柿島 裕樹 先生</p>	<p>No. (150033103) 遺伝子－専門－20 点</p> <p>染色体・遺伝子部門 大棟 久美江</p> <p>静岡赤十字病院 TEL: 054-254-4311 内線(2314)</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (4)

<p>平成 28 年 2 月 27 日 (土) 28 日 (日)</p> <p>パレブラン高志会館</p> <p>受講料 会員 10,000 円 非会員 15,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 29 回 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部 生理検査研修会</b></p> <p style="text-align: center;">かがやきを放つ検査技師へ ～明日から役立つ知識と技術の共演～</p> <p><b>【申込期間】</b> 12 月 7 日 ～ 1 月 8 日</p> <p><b>【申込方法】</b> 日臨技 HP の会員専用ページから事前参加登録を行って ください。</p>	<p>日臨技認定更新 指定研修会</p> <p><b>【研修会事務局】</b> 公立学校共済組合 北陸中央病院</p> <p>検査科 白井 亜紀 TEL 0766-67-1150 FAX 0766-68-2716</p> <p>E-mail <a href="mailto:Seiri29@h-c-h.jp">Seiri29@h-c-h.jp</a></p>
<p>平成 28 年 2 月 28 日 (日)</p> <p>9:00 ～ 20:00</p> <p>静岡県産業経済会館 第 1 会議室</p> <p>参加費 5,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 スタートアップ研修会</b></p> <p>対象： 新人～入職 5 年目位までの方 40～50 名</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレゼンテーション(提案)の考え方や基本的な技術を身につけよう！ ～伝えたいことがあるとき、今までよりわかりやすく話たり、説明ができるようになる～</li> <li>2. 日常業務の疑問点・問題点を共有し解決策を考えてみよう！ ～グループ学習を通じ、日常業務の疑問点・問題点を抽出しディスカッション・発表する～</li> <li>3. 技師会について知っておこう！ (ランチョンセミナー)</li> <li>4. コミュニケーションを図ろう！ ～研修を通して、様々な施設との 技師間交流を図る～</li> </ol> <p><b>【申込方法】</b> 別紙申込用紙にご記入の上、FAX にて静臨技事務所まで送付 申込み先 : FAX 054-287-4113 申込み締め切り : 平成 28 年 1 月 15 日 (必着)</p>	<p>No. (150033462) 教育－基礎－20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b> 静臨技 組織部 静岡済生会総合病院 市川 千津子 054-285-6171 (内線) 2623</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (5)

<p>平成 28 年 3 月 5 日 (土) 13 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡赤十字病院 別館 4 階 第 1 会議室</p> <p>会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 第 3 回 病理細胞診研修会</b></p> <p>テーマ : 病理標本の質と精度の向上 (質の良いパラフィンブロック作製を中心に)</p> <p>13:20 ~ 14:50 【プロセッシングの原理とポイント】 渡辺 明朗 先生 (サクラファインテックジャパン株式会社)</p> <p>15:10 ~ 16:40 【診断し易い HE 染色標本の作り方(仮題)】 徳永 英博 先生 (熊本大学医学部附属病院 病理部・病理診断科)</p> <p>16:40 ~ 17:00 質疑、討論</p> <p>技師会番号、細胞検査士番号をご準備ください 日臨技認定更新指定研修会 B-10 点 C-10 点 (申請中)</p>	<p>No. (150030256 ) 病理—専門—20 点</p> <p>【問い合わせ先】 病理細胞部門 栗田 昭</p> <p>磐田市立総合病院 臨床検査科病理</p> <p>TEL : 0538-38-5000</p> <p>E-mail : <a href="mailto:a-ku570@uv.tnc.ne.jp">a-ku570@uv.tnc.ne.jp</a></p>
<p>平成 28 年 3 月 12 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡赤十字病院 3 号館 研修室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 27 年度 第 2 回 生物化学分析部門研修会</b></p> <p style="text-align: center;">酸塩基平衡と病態のかかわりについて考える</p> <p>14 : 00 ~ 15 : 20 講演 1 「アニオンギャップ」 15 : 20 ~ 15 : 30 休憩 15 : 30 ~ 17 : 00 講演 2 「酸塩基平衡の臨床」</p> <p>中部ろうさい病院 副院長 リウマチ膠原病科(腎・感染症科)部長 研修センター長 藤田芳郎先生</p> <p>血液ガスの読み方、アニオンギャップの計算方法を「研修医のための輸液・水電解質・酸塩基平衡」の著者である藤田芳郎先生に実際の症例に基づいて背景から解り易く解説していただきます。 日常業務だけでなく緊急検査業務で血液ガス分析検査をされる方は是非ご参加ください。</p>	<p>No. (150032472) 生物化学—専門—20 点</p> <p>生物化学分析部門 高林 保行</p> <p>JA 静岡厚生連 遠州病院 臨床検査科 TEL 053-453-1111</p>

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい。

台風など天災の影響により開催が危ぶまれる場合は、必ずホームページでご確認下さい。

## 平成28年1月・2月・3月の行事予定

### 1月

- 9日(土) 平成27年度 第3回 臨床生理部門研修会 : 聖隷浜松病院  
9日(土) ~ 10日(日)  
平成27年度 中部圏支部一般検査研修会 : 鈴鹿医療科学大学(三重県鈴鹿市)  
16日(土) ~ 17日(日)  
平成27年度 中部圏支部臨床血液部門研修会 : IMY ホール(名古屋)  
22日(金) 平成27年度 全国幹事連絡会会議 : 日臨技事務所 第1会議室  
22日(金) 平成28年 日臨技 賀詞交換会 : TKP ガーデンシティ品川  
23日(土) 平成27年度 日臨技臨時総会 : 東急 REI ホテル5階フォレストルーム  
29日(金) 第15回東部地区意見交換会(静岡県標準化事業) : 三島商工会議所

### 2月

- 2日(火) 第5回常務理事会・第8回理事会 : 技師会事務所  
6日(土) 平成27年度 第4回 臨床一般部門研修会 : 山口駅前ビル(静岡市)  
6日(土) 平成27年度 日臨技中部圏支部幹事会議 : 名駅ABCビル  
13日(土) 『静臨技 賀詞交換会』および、『静臨技 組織強化セミナー合同支部会』  
: 炙りのすけ  
13日(土) 平成27年度 第3回 輸血・細胞治療部門研修会 : 山口駅前ビル(静岡市)  
14日(日) 第16回 静岡血液フォーラム : 静岡労政会館  
27日(土) 平成27年度 第2回 染色体・遺伝子部門研修会 : 静岡赤十字病院  
27日(土) ~ 28日(日)  
平成27年度 中部圏支部生理検査研修会 : パレブラン高志会館(富山市)  
27日(土) ~ 28日(日)  
平成27年度 中部圏支部病理細胞検査研修会  
: 名古屋大学医学部保健学科(名古屋市)  
28日(日) 静臨技 スタートアップセミナー : 静岡県産業経済会館

### 3月

- 5日(土) 平成27年度 第3回 病理細胞診研修会 : 静岡赤十字病院  
12日(土) 平成27年度 第2回 生物化学分析部門研究班研修会 : 静岡赤十字病院

### ☆ 求人情報 ☆

(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

#### 求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒410-0302 沼津市東椎路春の木 550 沼津市立病院 臨床検査科 杉澤きよ美 まで。  
E-mail : osigoto@samt.or.jp TEL : 055-924-5100 (内線 2140)